

イタリアンライグラスの省力的な栽培法と 高品質ロールベールサイレージ調製法

畜産試験場

1 技術の要約

イタリアンライグラスの播種晩限、簡易耕起による省力的な栽培法、高品質なロールベールサイレージを調製するための収穫方法を明らかにしました。

2 技術の内容

イタリアンライグラスはトウモロコシやソルガムとの二毛作が可能で、採食性が良好なため、乳牛向けの自給飼料として増産を奨めたい牧草です。省力的に栽培し、高品質なロールベールサイレージを調製する方法を確立しました。

準高冷地（標高 700～800m）における播種晩限は 10 月上旬で、ディスクハローを用いた簡易耕起により、播種作業の省力化が図れ、慣行栽培と同等の収量が得られます。

サイレージ調製のための目標水分はロールベール収穫体系が 50%、フォーレージハーベスタ・細断型ロールベール収穫体系が 60～65%です。モアコンディショナを用いて刈り取れば、晴天の場合、翌日には水分が目標水分まで低下し、ラッピングにより良質のサイレージが調製できます。

ロールベール体系（目標水分 50% 前後）

テッダによる反転作業 1 回 翌日、レーキで集草しロールベールで梱包

モアコンディショナで刈取り
(刈取り+圧碎で予乾促進)

フォーレージハーベスタ・細断型ロールベール体系（目標水分 60～65%）

反転をしないで予乾
(集草は不要、土砂の混入を抑制) 翌日、フォーレージハーベスタで拾い上げ・細断し、細断型ロールベールで梱包